

六甲オルゴールミュージアム開館25周年記念特別展 「星空とオルゴール～銀河鉄道の旅～」7月12日(金)より開催 ～宮沢賢治研究者による「賢治と音楽」についてのレクチャーコンサートも開催～

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社 100%出資)が運営する「六甲オルゴールミュージアム」(博物館相当施設)では、2019年7月12日(金)から9月10日(火)まで開館25周年記念特別展「星空とオルゴール～銀河鉄道の旅～」を開催します。

開館25周年記念特別展「星空とオルゴール～銀河鉄道の旅～」概要

六甲オルゴールミュージアムでは、満天の星空を投影したコンサート展示室で、アンティーク・オルゴールなどの自動演奏楽器の音色を鑑賞するコンサートを開催します。

本企画では、宮沢賢治の小説「銀河鉄道の夜」の物語世界をオルゴールの演奏と共に楽しめます。この小説は、主人公たちが銀河を走る銀河鉄道に乗って様々な人々に出会い、そして別れる物語です。コンサートでは、その銀河鉄道の車窓から主人公たちが眺めたであろう銀河のイメージを大きく投影します。その空間の中で、物語に登場する楽曲などをオルゴールなどで演奏します。銀河鉄道に乗車して旅をしているかのように、コンサートを楽しめます。

【開催期間】

2019年7月12日(金)～9月10日(火)

【コンサート時間】

10:30～16:30までの毎時30分から各回約15分間

※入館料のみでコンサートをご覧いただけます。

※毎時00分スタートで別プログラムのコンサートを実施。

【使用楽器例】

- ・デカップ・ダンス・オルガン“ケンペナー”(自動演奏オルガン/ベルギー/1938年)
- ・レジーナフォン155型(ディスク・オルゴール/アメリカ/1910年頃)

【演奏曲目例】

- ・「星めぐりの歌」 /作曲:宮沢賢治
- ・交響曲第9番「新世界」第2楽章 /作曲:A・ドヴォルザーク



特別展コンサート(イメージ)



レジーナフォン155型(演奏イメージ)

関連イベント

■レクチャーコンサート「宮沢賢治の音楽世界」

宮沢賢治は音楽好きとして知られ、西洋音楽などの影響を受けて書かれた作品もあります。賢治の生涯を追いながら彼と音楽にまつわるエピソードを分かりやすく解説し、彼が生きていた頃に作られたアンティーク・オルゴールなどで賢治ゆかりの楽曲を演奏します。

【日程】 7月27日(土)(予約不要)

【時間】 17:00～18:00

※入館料のみで参加できます。

【定員】 80名(先着順)

【講師】 甲南女子大学文学部教授 信時哲郎(のぶときてつろう、宮沢賢治学会理事)

<信時哲郎プロフィール>

1963年神奈川県横浜市生まれ。1986年上智大学文学部国文学科を卒業し、1993年上智大学文学研究科国文学専攻博士後期課程単位取得退学。1994年神戸山手女子短期大学専任講師、1999年神戸山手大学専任講師を経て、2005年甲南女子大学文学部助(准)教授となる。現在、同大学教授。戦後漫画史、宮沢賢治の生涯と作品、都市と文学などをテーマに研究を行う。



講師 信時哲郎

<リリースに関するお問い合わせ先>

六甲オルゴールミュージアム

【TEL】 078-891-1284

【FAX】 078-891-0111

<営業概要>

【入館料】 大人(中学生以上)1,030円、小人(4歳～小学生)510円

【営業時間】 10:00～17:00(16:20受付終了)

【休館日】 会期中は9月5日(木)

【所在地】 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-145